

会 議 録

会議の名称		令和３年度第１回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		令和３年６月２２日（火） 開会：午後２時　閉会：午後４時		
開催場所		市役所　議会棟２階　全員協議会室		
事務局(担当課)		都市整備部　都市計画課		
出席者	委　員	佐野委員，飯塚委員，村山委員，爲我井委員，中島委員， 寺田委員，宮野入委員，泉委員，牧瀬委員，岸代理，土井委員， 海老原代理，武藤委員，渡部代理，高田代理，告委員， 古谷委員 以上　１７名		
	市職員	石塚課長，出野課長補佐，高野係長，平井主任，小山技師， 中野主事 以上　６名		
公開・非公開 の状況		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	１名
公開不可の場合 はその理由				
会議次第		1　開会 2　会長の選出 3　会長挨拶 4　議事 （１）協議事項 議案第１号　令和２年度事業実績及び収支決算について 議案第２号　令和３年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 議案第３号　令和４年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について 議案第４号　守谷市デマンド乗合交通運送事業運送約款の一部改正について 議案第５号　まちづくり協議会からの要望に対する意見照会について （２）報告事項 報告第１号　守谷市デマンド乗合交通の利用状況について 報告第２号　モコバスの利用状況について 報告第３号　高齢者運転免許自主返納事業実績報告について 5　その他 6　閉会		

確定年月日	会議録署名
令和3年7月26日	会 長 中島 伸一

審 議 経 過

1 開会

2 会長の選出

3 会長あいさつ

4 議事

(1) 協議事項

●議案第1号 令和2年度事業実績及び収支決算について

【事務局から説明】

○意見・質問等

特になし

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第2号 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

【事務局から説明】

○意見・質問等

武藤委員：事業計画の中で、新規施策は5番の再編のみで、その他は従前通りということでしょうか。

事務局：3番の利用促進策等において、バス待ち環境の向上施策として主要バス停へのベンチ設置を予定している。

泉委員：モコバス及びデマンド運行経費の具体的な経費としては人件費ということか。みずき野地区はモコバスは1時間に1本程度であるが、これを増やした場合には、どれくらい膨らむのか知りたい。

事務局：モコバスの場合は、昨年度新車両を2台導入したため、リース代が含まれている。その他は、関東鉄道への委託料となる。デマンドについては、委託契約を行っている4事業者への委託料となる。また、予約センターの運営経費に係る人件費、予約システムの利用料となる。

宮野入委員：利用促進策等の中で、乗継券の発行やキッズパス・シルバーパスの発行、デマンド利用券の発行と様々な券を発行していると思うが、種類が多く、使い分けるのが難しい。例えば、鉄道会社ではスイカやパスモ等の共通パスがある。それで一括して利用できないのかと思う。

事務局：共通して利用できるパスは現在ない。相互利用しやすい環境整備を、今後検討していきたい。

佐野委員：シルバーおでかけパスは非常に良いと思うが、知らない人が多いと思う。どのように周知をしているのか。

古谷委員：各戸へ配布している交通ブックを発行しており、そこに記載がある。

宮野入委員：各戸への配布は自治会会員のみであり、北守谷地区は約 40%が未加入である。未加入者への配布に苦慮している。

古 谷 委 員：市役所や各公民館でも配布しており、また、転入手続き時に転入者へも配布している。

宮野入委員：自治会未加入者への周知が課題である。できるだけ、周知できるよう努力したい。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第 3 号 令和 4 年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
について

【事務局から説明】

○意見・質問等

牧 瀬 委 員：フィーダー系統の補助金に関しては、茨城運輸支局を通して、関東運輸局に申請となる。内容については、記載ミス等の軽微なものは提出後に修正が入る可能性があるので、ご理解いただきたい。また、今回この場で承認いただくのは、フィーダー系統の補助金を申請するためであることをご理解いただければと思う。

武 藤 委 員：参考として聞いていただければと思うが、事業の目標については、どの地域の交通計画でも難しい問題である。令和 2 年度ベースで目標を設定していると思うが、新型コロナウイルスの影響でどこまで落ちているのかが分からない。一般的には全ては戻らないとも言われている。令和元年度を 100 として、例えば、令和 4 年度は 80%、令和 5 年度は 85%、その次は 90%まで戻るといような考え方もある。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第 4 号 守谷市デマンド乗合交通運送事業運送約款の一部改正について
【事務局から説明】

○意見・質問等

牧 瀬 委 員：変更後のタイトルが運送事業運送規定となっているが、これは事業者が守るべきルールなのか。それとも利用者目線のルールなのか。

事 務 局：事業者のものと考えている。

牧 瀬 委 員：事業者が守るべきものとなると、国で定めている標準運送約款があり、これと相違がある際には、独自の運送約款として認可を受けていただく必要がある。市としては、事業者が守るべきものは国のものを優先していただいて、利用者が守るべきものとして位置づけていただいた方が良くと思う。この件は保留として、検討事項として持ち帰りたい。

事 務 局：国土交通省からの指導により部分的な改正で問題ないと考えていたが、より適正なものにしていくため、ご提案を受けたいと思う。

牧 瀬 委 員：持ち帰って確認し、今後案を提示したい。

事務局：この場では、採決は見送りとし、次回の協議会時に議題としたい。

中島会長：一度持ち帰り、協議いただき、次回の協議時に議題とすることによってほしいか。

【採決せず、次回の協議事項とする】

●議案第5号 まちづくり協議会からの要望に対する意見照会について

【事務局から説明】

○意見・質問等

爲我井委員：戸頭地区は生活圏であり追加して欲しい。病院については、医師会病院に通う方が多い。JA 取手協同病院については、通う方はいるが、距離があり、難しい面もあると思う。しかし、我々で検討した結果であるため、ぜひ追加して、利便性を向上させて欲しいと思う。デマンド拡充により、タクシー業務がひっ迫するということであれば困るが、そうでないのであれば何とか取り組んでいただきたい。

飯塚委員：つくばみらい市も第一病院へ乗り入れており、守谷市を中心として、取手市、つくばみらい市というように、コミュニティバスの連携が取れないのか。どういうルートで運行しているか詳細は分からないが、よく調査し、お互いの良い点を繋ぎ合わせて欲しい。Bブロックの役員会では、営業等の問題で難しいという意見は出たが、理想とすれば、お互いに連携をとり、検討して欲しい。本日の資料の内容はよく理解できるが、これを打破するため、周辺市との連携を検討して欲しい。

佐野委員：この議題を最初に出したのが私である。これはまちづくり以前の問題で、民生委員としてデマンドを説明した時に、小山地区、辰新田地区、奥山地区は取手市に近く、医師会病院へ通院する方が多いと聞いた。以前説明を受けた際に、運行距離が多くなると聞いたが、少なくとも守谷 A 地区の人が第一病院へ行くよりは医師会の方が近いと思うと言った。これは検討すべき内容であると思う。お年寄りの方は、長時間バスに乗ることはあまり好まないもので、検討して欲しい。

古谷委員：すべてが満足できれば一番いいが、板戸井の方が医師会に行く等の場合も考えられる。全体的に考える必要がある。また、様々な公共交通機関を結ぶ形で連携し目的地へ繋げることが一番であると考えている。医師会であれば、戸頭駅からバスが出ているため、守谷駅や南守谷駅までデマンドで行っていただき、常総線で戸頭駅に行くことが出来る。また、JA 取手は取手駅からバスが出ている。このようなルートの紹介は行っていききたいと思う。

中島会長：地域によって利便性が変わってくるが、市のお金を使っているので、公平性は必要であると思う。目的地（要望先）までのルート案内があると非常に良いと思う。その他いかがでしょうか。ないようでしたら、事務局は、まちづくり協議会への回答案の配布と説明を願い

ます。

【事務局から回答案の配布と説明】

中 島 会 長：回答案について、修正や追加等ありましたらお願いいたします。

牧 瀬 委 員：この件については、このまま凍結となるのか。他市町村では、意外と市外運行を行っている事例は少なくない。今は厳しいが、今後も継続して検討する等の文言を追加した方がいいのではないか。

爲我井委員：この件は、以前も協議会にて検討した経緯はあったのか。

古 谷 委 員：以前は検討するということで終了した。そして、三者協議を開催した。その結果、現状は厳しいとの結論になったが、先々を考えて、「現時点では厳しいが、将来的に検討すべき事項とする」等の文言を追加しても良いと考える。

中 島 会 長：継続審議とするのか、終了とするのかの判断は協議会として出すので重要である。回答案では、三者協議の意見が全てとなっている。出来ない部分は仕方ないが、継続審議する等の文言は追加して良いと考える。

飯 塚 委 員：各病院からの送迎バスがあるのであれば、それを利用いただいたり、そのような送迎バスに補助金を出しても良いと思う。また、市同士の連携等も追加して良いと思う。

寺 田 委 員：この案はどうもすっきりしない。三者協議ではなく、まちづくり協議会の会長も含めての四者協議を開催した方が良いのではないか。この案は協議会会長が出せるものではない。事務局が勝手に作成したような雰囲気を感じる。継続審議としてもらいたい。

古 谷 委 員：事務局主催で三者協議を開催したため、事務局案とも言えるが、事業者・予約センターの意見が大半である。また、お金の問題ではなく、台数が増やせないという根本的な問題があり、難しい課題である。よって、まずはデマンドの代替手段を案内していきたい。

爲我井委員：市の意見は理解できるが、この協議会は誰のためにやっているのかということを見ると、「出来ない」と明言するのはどうかと思う。また、今日初めて聞いた話で、この場で出来ないと結論づけるのは乱暴であると考え。何か良い方法があるのではないか。費用等の問題は一つ一つ潰していき、その結果が出来ないであれば仕方ないが、現状では私もまちづくり協議会に報告しづらい。継続して検討してもらいたい。

事 務 局：協議については、ご意見のとおり、継続していきたいと考える。また、三者協議は、協議会の場での意見を踏まえ、昨年開催した。事務局としては、なるべく市外運行を行って欲しいという考えで臨んだ。しかし、資料のような意見があり、その旨を次回協議会に報告する予定であったが、その前に、まちづくり協議会より要望書の提出があったため、再度、三者協議を開催した。それら2回の協議結果を今回提示した。この場での意見として「検討する」との文言を追加

した方が良いのか、それとも協議会としては回答できないのか、いかがか。

古谷委員：回答文に「早急に事業実施は困難と考えられるが、今後とも継続して検討する課題であるとする」との文言を追加し、継続的に検討することとするのはいかがか。

中島会長：今日中に回答を出す必要があるか。

古谷委員：今までは、まちづくり協議会への回答は1箇月もかからないうちに行っている。しかし、今回は、協議会の意見を伺いたいとの市長からの依頼もあり、回答を遅らせてきた経緯がある。できれば本日回答をいただきたい。

寺田委員：古谷委員からの意見の文言の追加があれば良いと考える。今後も継続的に検討するべきである。

牧瀬委員：この後も実績報告等があると思うので、その間に修正案を作成いただくことは可能か。

中島会長：一旦、次の報告事項に移り、その後、修正後の回答案を確認し、採決するというところでよろしいか。

【採決は報告事項の後、修正後の回答案の確認後とする】

●報告第1号 守谷市デマンド乗合交通の利用状況について

●報告第2号 モコバスの利用状況について

●報告第3号 高齢者運転免許自主返納事業実績報告について

【事務局から説明】

○意見・質問等

土井委員：報告第3号にて、令和2年度の実績が昨年度よりも減少しているが、その要因は何か。

事務局：新型コロナウイルスの感染拡大の影響があると考ええる。また、高齢者の事故等の報道があると増える傾向があり、去年はそのような報道が少なかったことも影響していると考ええる。

土井委員：警察としては、運転に不安がある方は、ぜひ返納をしていただきたいと考えており、守谷市として自主返納のチラシ等があるのであれば警察署で案内したい。

中島会長：モコバス無料デーの反響はいかがか。子供を連れて初めて乗車したという人もいたと聞いた。このようなイベント時のアンケートは重要である。初めて乗車した人の割合等の市場調査は行っても良いのではないか。

爲我井委員：資料では、1便あたりでは利用者は少なく見えるが、通常時と無料デーにおける1日あたりで比較した方が良い。

事務局：貴重な意見であるので分析していきたい。

古谷委員：1便あたり約9人というのは大半が朝夕である。無料デーの際は昼間も利用されている。約9人というのは悪い数字ではない。また、無料デーの効果は、バスに乗車いただき、利便性を実感して欲しい

という目的もあるが、アンケート調査を行い、広報等で発信することも検討していきたい。

中 島 会 長：そのほか意見はよろしいか。それでは、先ほどの議案第5号の回答案について再度、説明願います。

【事務局から説明】

○意見・質問等

中 島 会 長：今後も継続して検討するということで、文言が追加された。協議会において、委員の皆様と継続的に検討するということでよろしいか。

【採決の結果、全員賛成により承認】

5 その他

事 務 局：次回の協議会開催の予定は、秋頃を予定している。

○意見・質問等

特になし

6 閉会